

三鷹中央通信

2005年 創刊号



医療法人社団 永寿会
三鷹中央病院
三鷹中央リハケアセンター



日本医療機能評価機構

三鷹中央病院は、平成14年に日本医療機能評価機構に認定されました。



三鷹中央リハケアセンター 竣工披露式 理事長挨拶

創刊にあたり

医療法人社団 永寿会 理事長 吉田正一

日頃は、当法人が運営します「三鷹中央病院」並びに「三鷹ふれあい訪問看護ステーション」、それに今年五月に新たに開設致しました介護老人保健施設「三鷹中央リハケアセンター」が皆様方には大変お世話になつていて厚くお礼申し上げます。

この度、地域の皆様方に当法人をもつと良く知つて頂いて、忌憚のないご意見やご要望をお寄せ頂き、地域医療にさらに貢献する一助になればと考え、広報誌「三鷹中央通信」を年二回の予定で発行することになりました。

創刊に当たり、当法人の沿革を簡単に紹介させて頂きます。当法人「永寿会」は、昭和四十一年に設立され、同年に三鷹中央病院を開設致しました。永寿会という名前の由来は、前理事長の岡村寿氏と奥様の旧姓（永田）から取つたものですが、永寿というのは目出たいが故に、医療や福祉関係の施設に散見する屋号ですが、他の永寿会との繋がりはありません。

三鷹中央病院はかつては日本的心臓外科のパイオニアとして名高い榎原仔東京女子医大教授が名誉院長を務めるなど、東京女子医大の心臓血管研究所との縁が深く、中央線沿線の心臓の手術を一手に引き受け、心臓専門病院の様相を呈していた時代がありました。同医大との関係を解消後は一般病院として運営されましたが、残念なことに必ずしも地域医療に充て平成十年から私と弟（宏）が三鷹中央病院の経営に関わることになりました。理事長（院長兼務）に就任以来これまで、「経営の安定無くして、良質の医療の提供無し」をスローガンに

掲げて、整備・改革を進めました。平成十一年に「三鷹ふれあい訪問看護ステーション」を開設し、平成十二年の病院全面リニューアル工事の完了を機に、病床構成を一般八十床・療養三十五床の計百二十二床のケアミックスに改めました。東京都指定「二次救急医療機関として、年中無休・二十四時間オーブン」の救急医療体制を敷き、平成十四年には日本医療機能評価機構に認定されました。病院規模の割には多科にわたって専門医を配して、慢性疾患の専門的な診断・治療にも力を入れており、消化器外科・整形外科・泌尿器科の手術実績が豊富です。主な設備としては、ヘリカルCT、MRI、高気圧酸素治療装置などがあります。

①いつでも、どなたでも診療いたします。②常に親切・安心・質の高い医療の提供を心がけ、事故の無い病院をめざします」の理念の元に、「患者様の訴えを素直に受けとめて、診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供する」を診療の基本方針にしています。

そして、今や超高齢化社会が故に、病気や怪我を治すだけでは済まない、つまり三鷹中央病院の医療だけのサービスでは完結しないケースが最近目立つて増えて来ており、五年程前から介護施設の開設を検討して参りました。中でもりハビリの需要が多いため、リハビリに特化した老健をぜひ造りたいと考え、今年五月に、リハビリを主体とした介護を行いますというメッセージを込めて名付けた「三鷹中央リハケアセンター」を開設致しました。骨折や外科の手術後あるいは脳卒中や内科疾患で急性期を乗り切つたものの、歩けない・動けないために自宅への復帰が難しい方、或いは自宅にいても最近アチコチ痛くて動けなくなってきた等という方を対象にして、生活機能の回復を目指した身体リハビリをしっかりと行いたいと思いますので、ご利用・お申し込みをお待ちしています。

竣工披露式の模様



表して四人の来賓の皆様からご祝辞を頂き、医療と介護も含めて地域全体で支え合うシステムづくりの必要性を改めて感じました。

そして、祝賀会においてもご来賓の皆様と超高齢社会における医療及び介護の問題点や今後の方向性などの意見交換やご指導をいただき、当センターとして目指すべき方向性の大切なヒントをいただくこともできました。

三鷹中央リハケアセンターは基本方針である医療から介護へと連続するリハビリシステムを効率よく機能させることを主眼にした「生活機能の向上を目指し、個別性を重視したリハビリを提供すると共に、地域の医療・介護サービスの向上のために職員一同努力してまいりますので皆様からご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

三鷹中央リハケアセンターは高齢者の皆様が住み慣れた地域で生活を継続できるように医療と介護の連携を図り介護予防と機能回復を目的としてリハビリの充実を基本とした事業を行っています。

三鷹中央リハケアセンター



利用者の皆様の状態にあわせて、自立生活を目的とした離床や歩行のリハビリテーションを積極的に行います。少しでも早い家庭復帰をめざします。

三鷹中央リハケアセンターは高齢者の皆様が住み慣れた地域で生活を継続できるように医療と介護の連携を図り介護予防と機能回復を目的としてリハビリの充実を基本とした事業を行っています。

施設紹介

「医療と介護の連携を大切に」

■竣工披露式の模様

五月二十一日(土)に三鷹中央リハケアセンターの竣工披露式が催されました。

当日は、行政機関、医療機関及び福祉機関等から三百名以上の皆様においでいただきました。

理事長は挨拶で、「これからは医療だけでは完結せず、引続き介護も必要とする患者の方々が増え、それに応えるべく介護老人保健施設の開設を考えました」と開設に至った経緯を述べました。

また、行政機関及び医療機関を代

■短期入所療養介護

ご家族が病気や旅行などの事情で介護ができないときに、当センターにご入所いただき一時的に介護を提供いたします。介護者の介護負担を軽減しリフレッシュを図ることにも

■通所リハビリテーション

リハビリテーションやレンクリエーションなどの生活訓練や食事・入浴などの介護サービスが、日帰りで利用いただけます。また、介護予防と自立回復を目指し、筋力向上トレーニングを行います。そして送迎サービスも行っています。



■訪問看護ステーション

看護師、理学・作業療法士がご自宅を訪問し、自立生活を高めるための看護やリハビリテーションを提供します。

■居宅介護支援事業所

在宅のご高齢者とそのご家族の生活や介護に係わる相談、介護計画の作成及び社会資源の紹介や利用代行等のサービスの調整を行います。

当センターでは、関連病院の「三鷹中央病院」が常にサポート体制を整え、一体となつた運営をしてまいります。万が一急な病変が生じた時でも二十四時間体制で迅速に受け入れ、いち早く適切な対応ができます。

